

The 11th International Conference/日本農業経済学会シンポジウム2
「『食料・農業・農村基本法』改正をめぐる課題—これからの食料政策・農業政策を考える—」
報告資料掲載

The 11th International Conference では、特別セッションとして、日本農業経済学会シンポジウム2「『食料・農業・農村基本法』改正をめぐる課題—これからの食料政策・農業政策を考える—」が開催され、下記の報告、コメントを元に議論がなされました。ぜひご覧いただき、基本法改正をめぐる議論へ意見をお寄せください。

これは、若手育成ワークショップ第2回として、学会大会において重要な政策課題の議論をおこなうことを目的に開催されたものです。今後も引き続きこのような政策議論の場を設ける予定です。

座長解題 （京都大学 新山陽子）

第1報告「食料・農業・農村基本法見直しの検討状況：食料安全保障の確立に向けた持続可能なフードシステムの構築」
（農林水産省 杉中 淳）

第2報告「地域圏を軸とした「食料政策」—「食生活の質」改善のための施策へ—」
（日本学術振興会特別研究員 上田 遥）

第3報告「農地・農業用水の持続的利用と食料の安定供給に関する論点」
（東京大学 竹田麻里）

報告へのコメント1 （農林水産省 横山 紳）

報告へのコメント2 （福山市立大学 清原昭子）

なお、掲載資料の一部が報告時とは異なるものがあります。